



HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の
市販後における使用実態、安全性に関する調査です。

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査 2018 年報告書 追補版

(1997 年 8 月 ~ 2018 年 3 月)

医療関係者各位

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いと考えております。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2018 年 12 月

HRD 共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD 株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

日本たばこ産業株式会社

ファイザー株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック株式会社(CRO:調査受託会社)

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

2018 年報告書 追補版

(1997 年 8 月 ~ 2018 年 3 月)

目次

調査対象薬剤	1
< 調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移 >	3
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療開始後の CD4 数の推移 (2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ 治療開始後の CD4 数の推移 (2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
< 調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移 >	4
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移 (2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移 (2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
< 調査対象全症例における治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移 >	5
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移 (2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移 (2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
< 調査対象全症例における治療開始時期別生存率 >	6
・ HRD 共同調査生存率 全症例のカプランマイヤー法による生存率	
< 調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡) >	7
・ HRD 共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
< 調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡) >	8
・ HRD 共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ HRD 共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
< 調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡) >	9
・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)	

治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

< 調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率 (AIDS 指標疾患による死亡) > ……10

- HRD 共同調査生存率 (AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)
- HRD 共同調査生存率 (AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)

< 調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率 > ……11

- HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

< 調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率 > ……12

- HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)
- HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)

< 調査対象全症例における治療開始時期別生存率 > ……13

- HRD 共同調査生存率
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

< 調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数 > ……14

- 治療経験が無い患者 (naïve 患者) への治療開始時の CD4 数
- 併用療法薬剤変更時の CD4 数
- 治療経験が無い患者 (naïve 患者) への治療開始時の HIV-RNA コピー数
- 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数

< 2015 年度から 2017 年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類 (薬剤組合せ) > ……15

調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

(2018 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
アイセントス錠 400mg	ラルテグ ラビ ル (RAL)	2008 年 6 月 ~ 2018 年 6 月
ミコフ ティンカプセル 150mg	リファブチン	2008 年 7 月 ~ 2018 年 7 月
インテンス錠 100mg	エトラビ リン (ETR)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
シーエルトリ錠 150mg	マラビ ロク (MVC)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
サムフレール内用懸濁液 15%	アトバ コン	2012 年 1 月 ~ 2020 年 1 月
エシ ュテン錠 25mg	リルピ ビ リン (RPV)	2012 年 5 月 ~ 2022 年 5 月
スタリビ ルド 配合錠	エルビ テグ ラビ ル/コビ シスタット/エムトリシタビ ン /テノホビ ル シ ソフ° ロキシルマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月 ~ 2023 年 3 月
プリジ スタインブ 錠 800mg	ダ ルバビ ル (DRV)	2013 年 7 月 ~ 2017 年 11 月
ドレキ錠 50mg	ドルテグ ラビ ル (DTG)	2014 年 3 月 ~ 2024 年 3 月
コムプレラ配合錠	リルピ ビ リン/テノホビ ル・シ ソフ° ロキシルマル酸塩 /エムトリシタビ ン (RPV/TDF/FTC)	2014 年 11 月 ~ 2022 年 5 月
プリジ スタ錠 600mg	ダ ルバビ ル (DRV)	2014 年 12 月 ~ 2017 年 11 月
トリメク配合錠	ドルテグ ラビ ル/アバ カル流酸塩/ラミブ ジン (DTG/ABC/3TC)	2015 年 3 月 ~ 2024 年 3 月
ゲンボ イヤ配合錠	エルビ テグ ラビ ル/コビ シスタット/エムトリシタビ ン/ テノホビ ル アラフェナミド フマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TAF)	2016 年 6 月 ~ 2026 年 6 月 ~
プレジ コビ ックス配合錠	ダ ルバビ ル イタノール付加物/コビ シスタット (DRV/COBI)	2016 年 11 月 ~ 2023 年 3 月
テシコビ 配合錠 LT	エムトリシタビ ン/テノホビ ル アラフェナミド フマル酸塩	2016 年 12 月 ~ 2026 年 6 月
テシコビ 配合錠 HT	(FTC/TAF)	

(参考:2018年3月現在再審査期間が終了している薬剤)

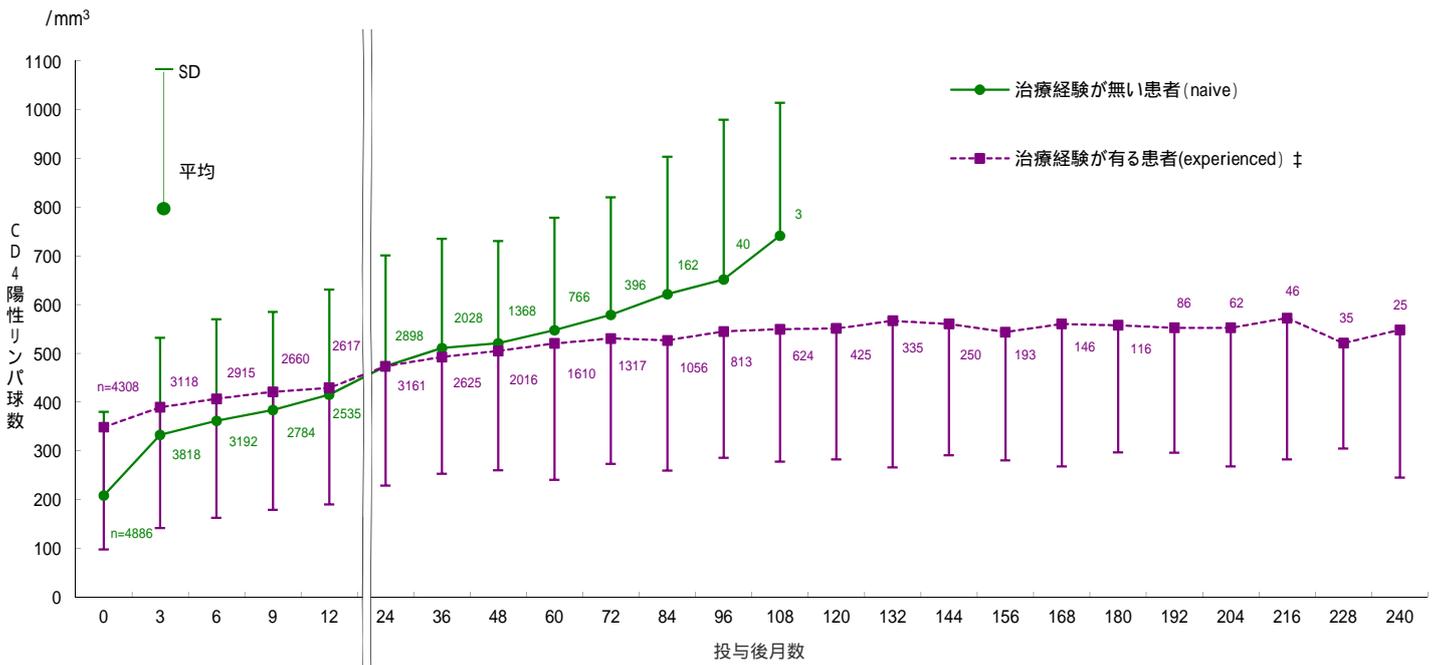
医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エピビル錠 150,300	ラミブジン(3TC)	1997年2月 ~ 2007年2月
コピビル配合錠	ジドブジン(AZT)・ラミブジン(3TC)	1999年6月 ~ 2007年2月
クリキハソカプセル ¹	インジナビル硫酸塩(IDV)	1997年3月 ~ 2007年3月
点滴静注用叔カビル	ホスカルネートナトリウム水和物	1997年3月 ~ 2007年3月
ゼリットカプセル	サニルブジン(d4T)	1997年7月 ~ 2007年7月
デノソカプセル ¹	ガンシクビル	1997年7月 ~ 2007年7月
インビラセカプセル ¹	サキビルメシル酸塩(SQV-HGC)	1997年9月 ~ 2007年9月
ノービア内用液・ソフトカプセル ¹	リトナビル(RTV)	1997年11月 ~ 2007年11月
ビラセプト錠 250mg	ネフイナビルメシル酸塩(NFV)	1998年3月 ~ 2008年3月
クラリス錠・トライシロップ	クラリスロマイシン(CAM)	1998年9月 ~ 2008年9月
クラリット錠・トライシロップ	クラリスロマイシン(CAM)	1998年9月 ~ 2008年9月
ビラミューン錠	ネビラピン(NVP)	1998年11月 ~ 2008年11月
ザイジンエン錠	アバカビル硫酸塩(ABC)	1999年9月 ~ 2009年9月
ストックリン錠 200mg,600mg	エファビレンツ(EFV)	1999年9月 ~ 2009年9月
カトラ配合錠・配合内用液	ロピナビル(LPV)・リトナビル(RTV)	2000年12月 ~ 2010年12月
エゾグム配合錠	ラミブジン(3TC)・アバカビル硫酸塩(ABC)	2004年12月 ~ 2010年12月
ジスロマック錠 600mg	アシスロマイシン	2001年12月 ~ 2011年12月
カトラ配合錠	ロピナビル(LPV)・リトナビル(RTV)	2011年4月 ~ 2013年3月 ²
レイアタツカプセル 150mg,200mg	アタザナビル硫酸塩(ATV)	2003年12月 ~ 2013年12月
ビリアード錠 300mg	テノホビルジソプロキシルマル酸塩(TDF)	2004年3月 ~ 2014年3月
ハルリキ錠 450mg	バルガシクビル塩酸塩	2004年11月 ~ 2014年11月
レクシヴァ錠 700	ホスアンプレナビルカルシウム水和物(fAPV)	2004年12月 ~ 2014年12月
エムトリバカプセル 200mg	エムトリシタビン(FTC)	2005年3月 ~ 2015年3月
ツルバダ配合錠	エムトリシタビン・テノホビルジソプロキシルマル酸塩(FTC/TDF)	2005年3月 ~ 2015年3月
プリシスタ錠 300mg	ダルナビル(DRV)	2007年11月 ~ 2017年11月
プリシスタタイプ錠 400mg	ダルナビル(DRV)	2009年8月 ~ 2017年11月

1: クリキハソカプセル・デノソカプセル・インビラセカプセル・ノービアソフトカプセルは現在、販売されておりません。

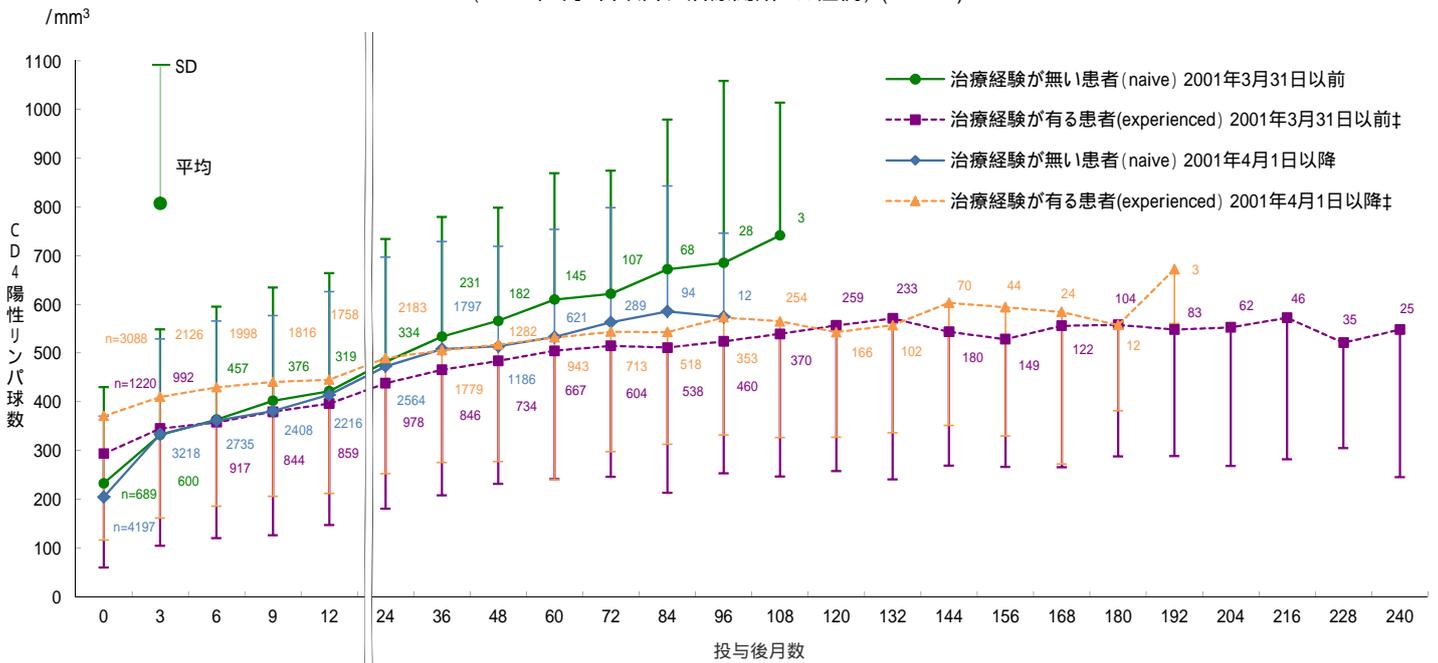
2: カトラ配合錠の用法追加(1日1回)は再審査対象ではないため調査期間を示しております。

< 調査対象全症例における治療開始後のCD4数の推移 >

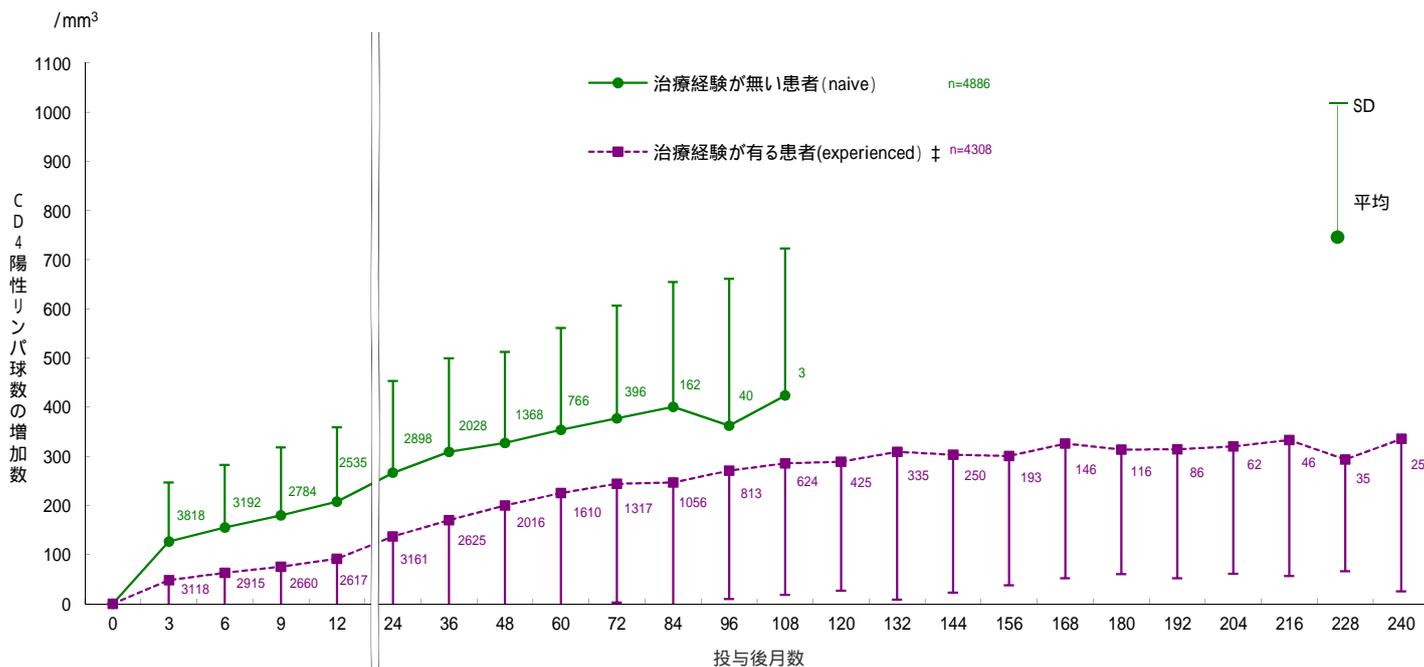
治療開始後のCD4数の推移[†]
(調査期間: 1997年8月から2018年3月) (n=9194)



治療開始後のCD4数の推移[†]
(2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1909)
(2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=7285)

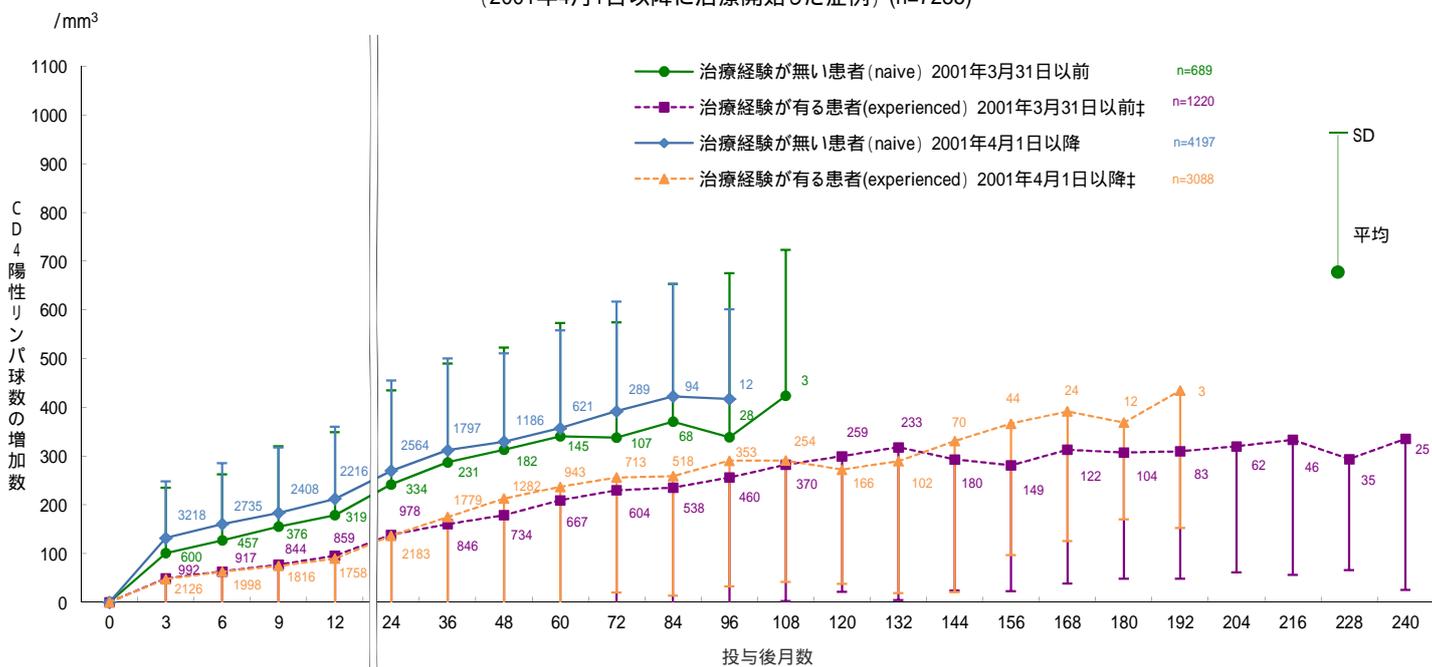


治療開始後のCD4増加数の推移[†] (調査期間: 1997年8月から2018年3月) (n=9194)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

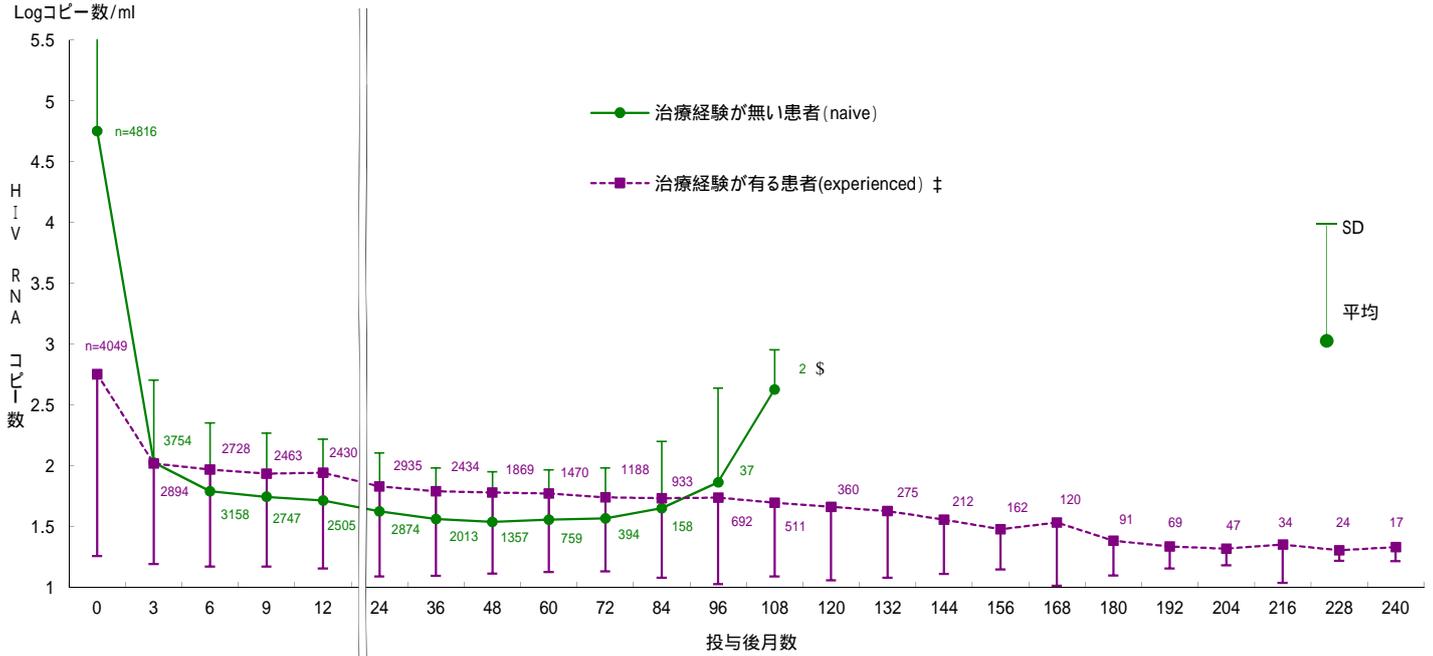
治療開始後のCD4増加数の推移[†] (2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1909) (2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=7285)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

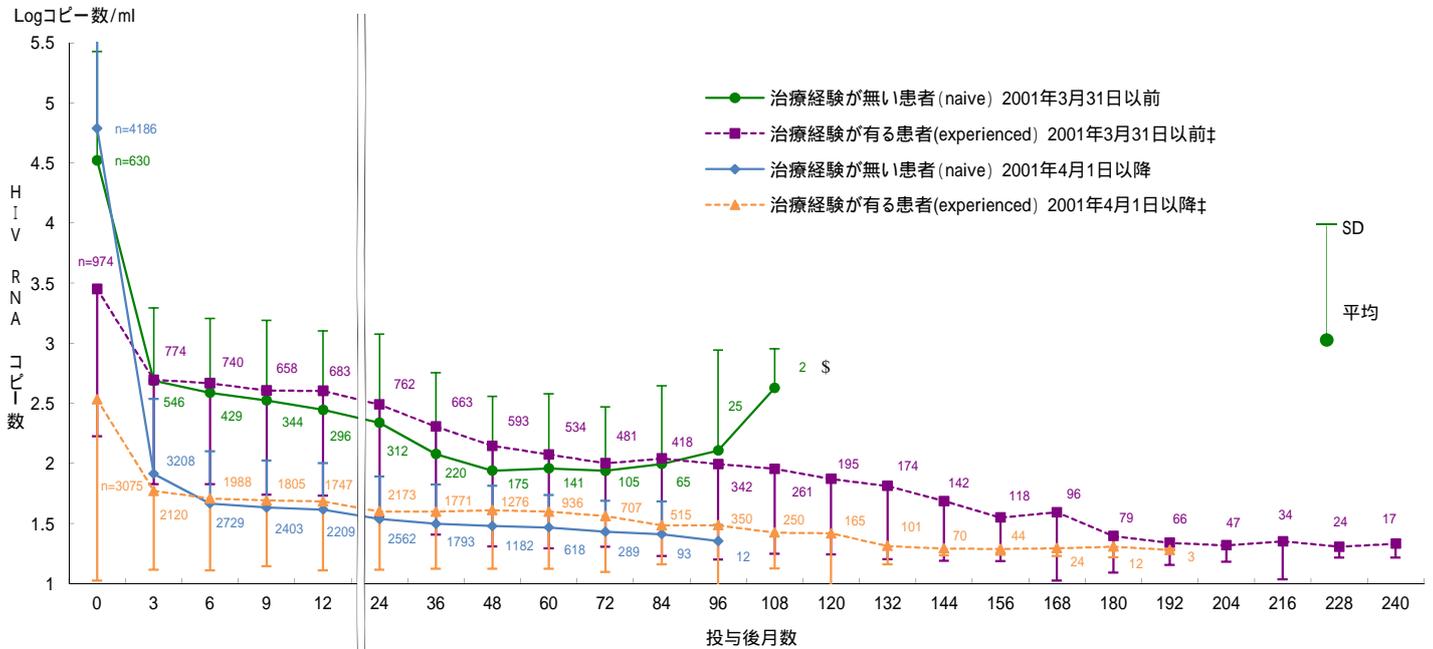
< 調査対象全症例における治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移 >

治療開始後のHIV - RNAコピー数の推移[†]
(調査期間: 1997年8月から2018年3月) (n=8865)



† HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
 ‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。
 \$ Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

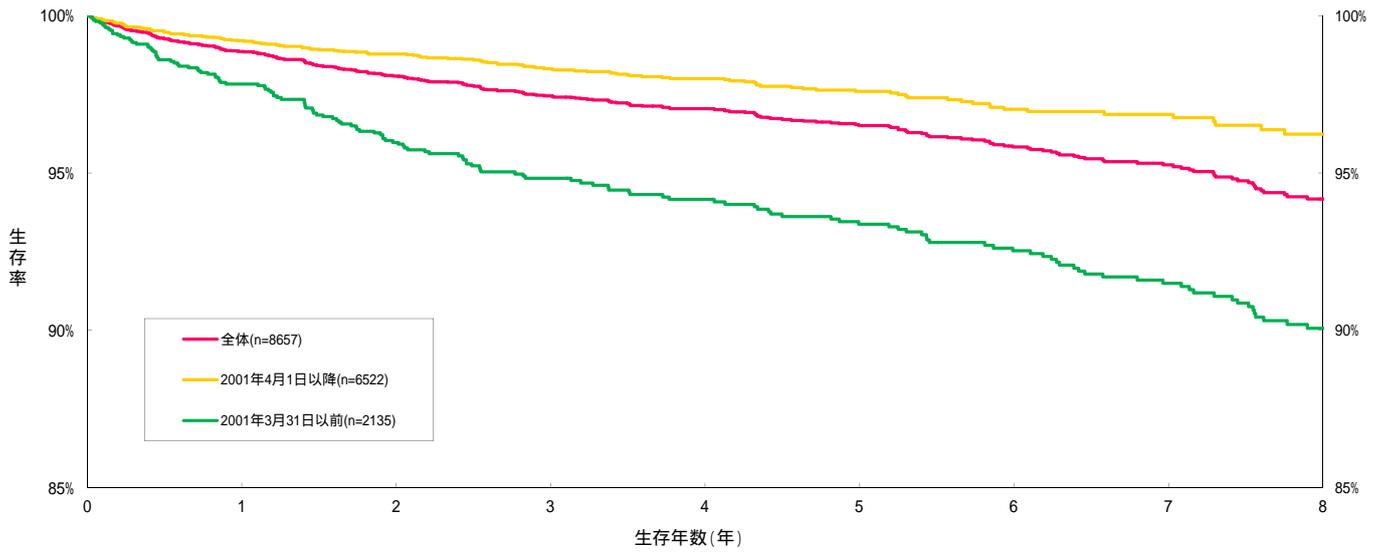
治療開始後のHIV - RNAコピー数の推移[†]
(2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1604)
(2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=7261)



† HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
 ‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。
 \$ Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

< 調査対象全症例における治療開始時期別生存率 >

HRD共同調査生存率
 全症例のカプランマイヤー法による生存率
 (調査期間: 1997年8月から2018年3月)

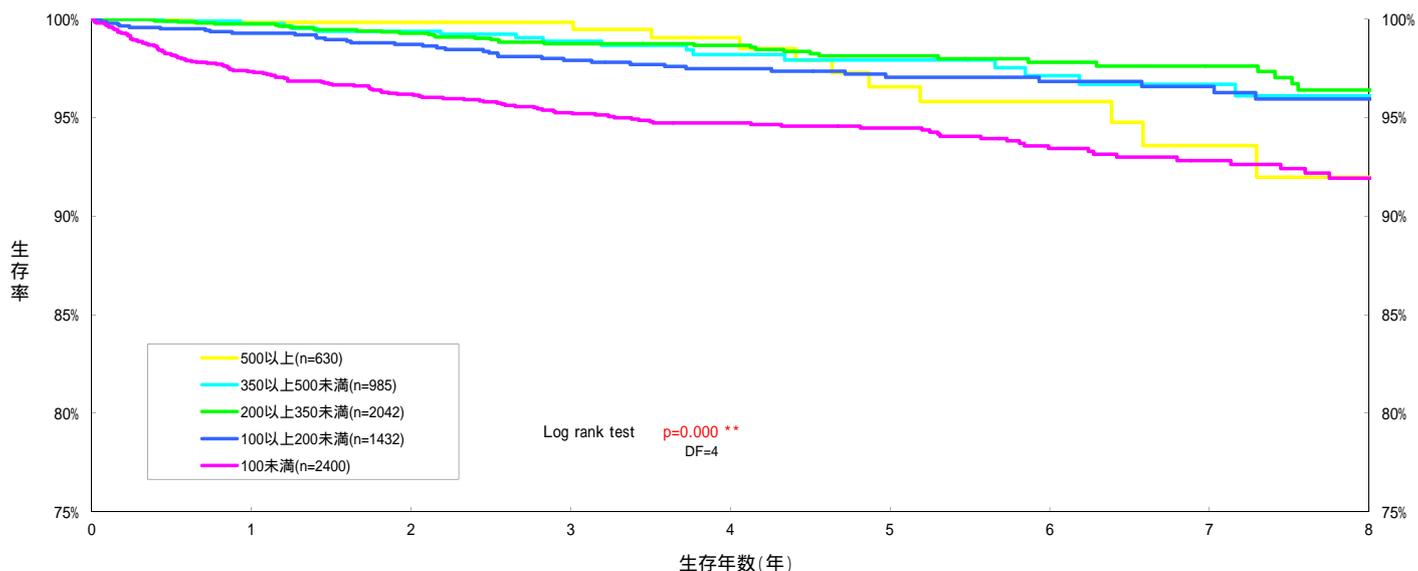


治療開始時期	治療開始時期	生存年数										
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
治療開始時期別の生存者数	全体	8657	7517	6509	5400	4279	3243	2489	1831	1329	987	675
	2001年3月31日以前	2135	1842	1600	1341	1229	1155	1042	907	742	572	403
	2001年4月1日以降	6522	5675	4909	4059	3050	2088	1447	924	587	415	272
	治療開始時期	生存年数										
	全体	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
	2001年3月31日以前	341	274	228	194	165	126	91	71	49	29	-
2001年4月1日以降	175	95	67	36	22	1	-	-	-	-	-	

上記の表は9年以降の生存者数も表記した。

< 調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡) >

HRD共同調査生存率
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (調査期間: 1997年8月から2018年3月)



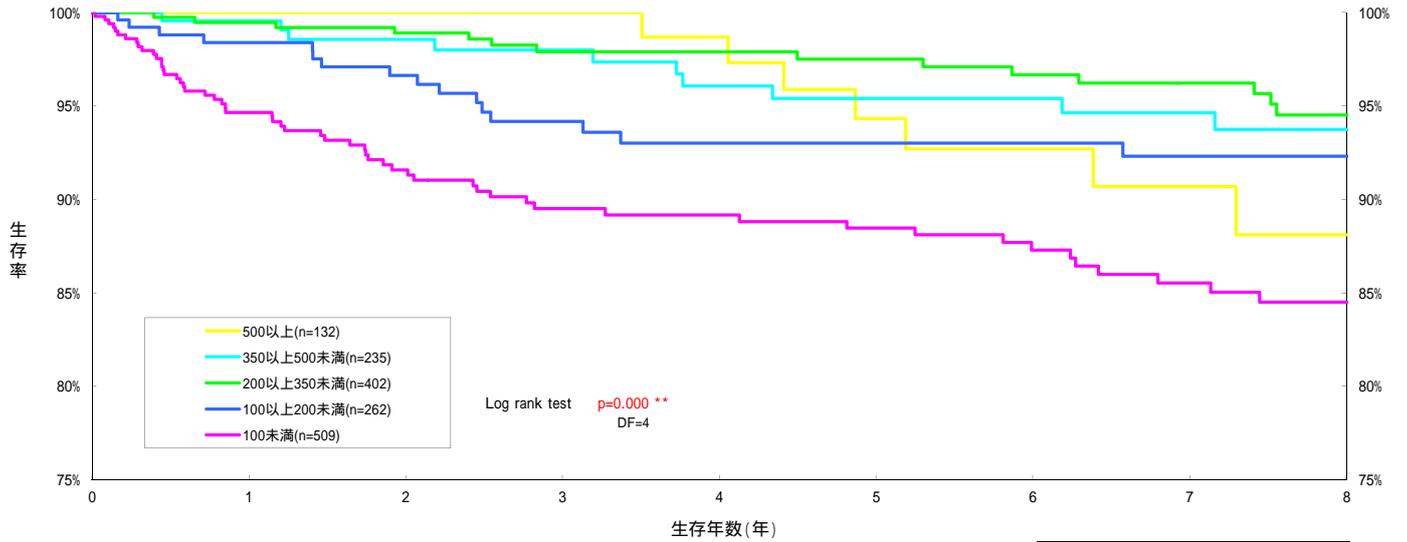
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。

本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等)による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.191
350未満 vs 350以上	p=0.002 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時CD4数	治療開始時CD4数	生存年数										
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
治療開始時CD4数別の生存者数	<100	2400	2050	1783	1511	1246	956	696	503	344	245	174
	<200	1432	1287	1162	997	808	600	454	323	235	177	122
	<350	2042	1809	1594	1331	1023	736	561	385	258	190	132
	<500	985	819	649	508	381	287	233	175	135	89	66
	500	630	511	401	286	187	131	105	65	45	29	21
		生存年数										
		(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
治療開始時CD4数別の生存者数	<100	130	94	78	58	46	27	14	11	8	5	0
	<200	93	61	47	39	32	22	19	15	10	6	0
	<350	98	73	56	44	38	27	24	20	10	6	0
	<500	52	35	28	23	17	9	7	4	4	2	0
	500	13	8	8	6	5	4	2	2	2	1	0

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)

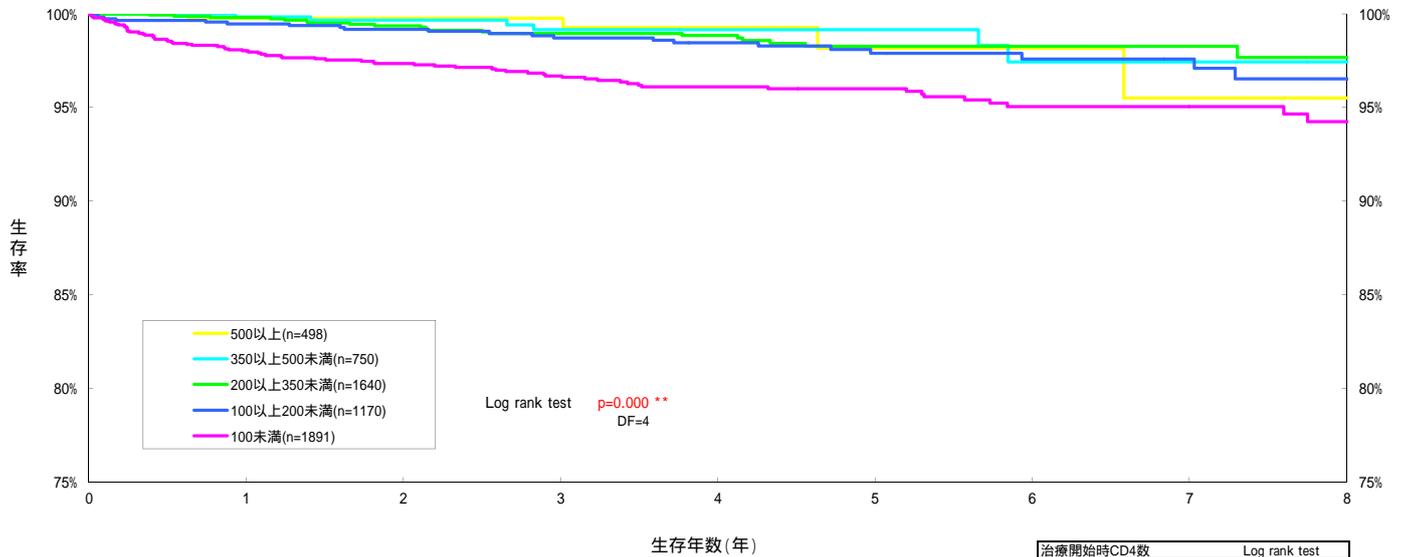


治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.645
350未満 vs 350以上	p=0.025 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時 CD4数	生存年数																					
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
<100	509	397	332	278	259	249	212	176	144	103	81	68	59	51	41	34	26	14	11	8	5	0
<200	262	236	207	169	157	145	135	126	101	84	63	56	44	37	33	31	22	19	15	10	6	0
<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147	114	77	65	54	44	39	35	27	24	20	10	6	0
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	9	7	4	4	2	0
500	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	5	4	2	2	2	1	0

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



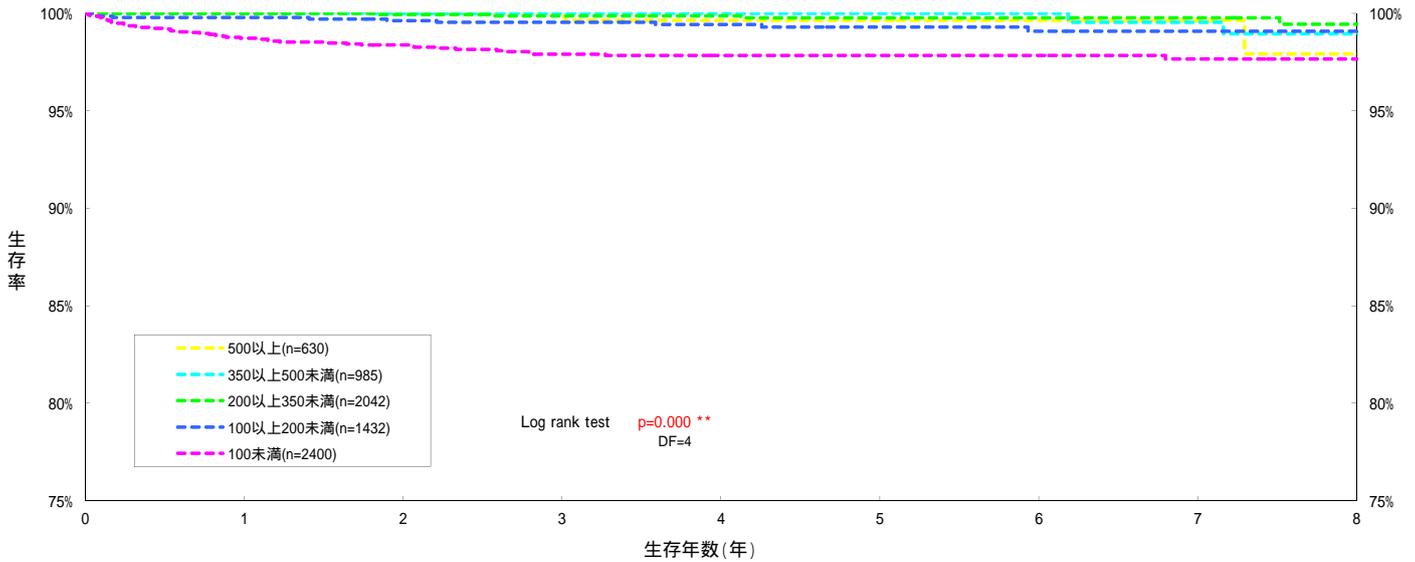
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.102
350未満 vs 350以上	p=0.005 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時 CD4数	生存年数																				
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)			
<100	1891	1653	1451	1233	987	707	484	327	200	142	93	62	35	27	17	12	1	0	0	0	0
<200	1170	1051	955	828	651	455	319	197	134	93	59	37	17	10	6	1	0	0	0	0	0
<350	1640	1446	1269	1054	768	495	337	195	111	76	55	33	19	12	5	3	0	0	0	0	0
<500	750	611	472	355	235	149	105	66	42	27	18	12	8	6	3	2	0	0	0	0	0
500	498	399	304	205	115	71	53	28	16	10	9	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0

< 調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率 (AIDS指標疾患による死亡) >

HRD共同調査生存率 (AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (調査期間: 1997年8月から2018年3月)

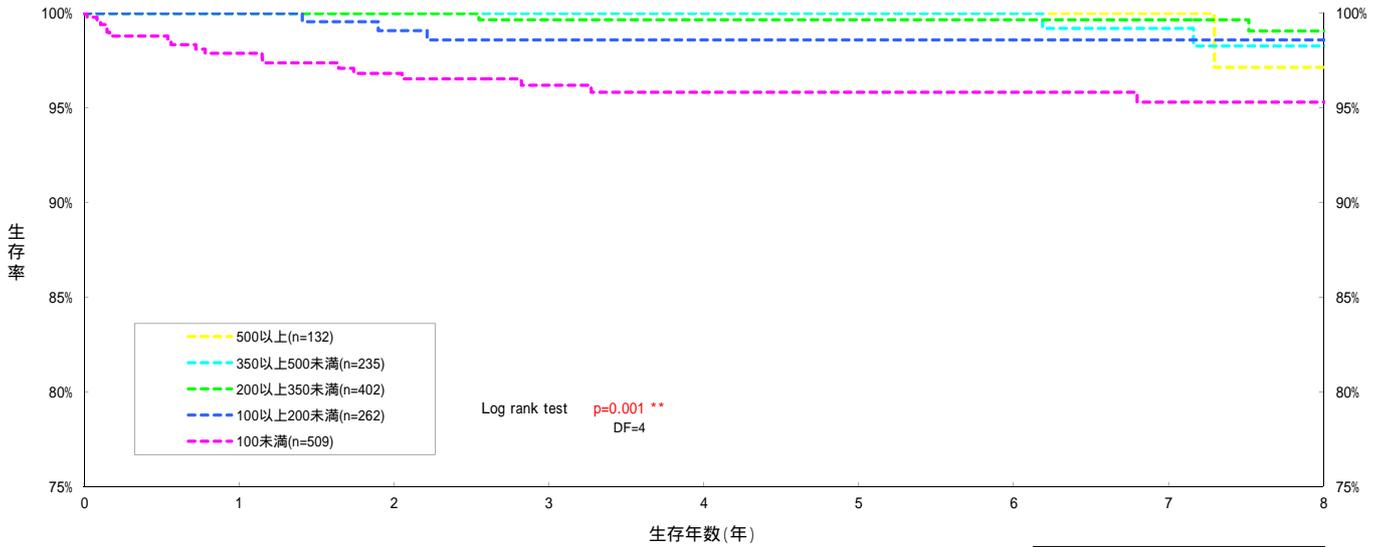


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景 (前治療歴の有無など) や
 治療内容 (2剤以下の抗HIV療法の構成比など) による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.196
350未満 vs 350以上	p=0.007 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数											
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	
<100	2400	2050	1783	1511	1246	956	696	503	344	245	174	
<200	1432	1287	1162	997	808	600	454	323	235	177	122	
<350	2042	1809	1594	1331	1023	736	561	385	258	190	132	
<500	985	819	649	508	381	287	233	175	135	89	66	
500	630	511	401	286	187	131	105	65	45	29	21	
治療開始時 CD4数別の 生存者数	生存年数											
	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	
<100	130	94	78	58	46	27	14	11	8	5	0	
<200	93	61	47	39	32	22	19	15	10	6	0	
<350	98	73	56	44	38	27	24	20	10	6	0	
<500	52	35	28	23	17	9	7	4	4	2	0	
500	13	8	8	6	5	4	2	2	2	1	0	

HRD共同調査生存率 (AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)

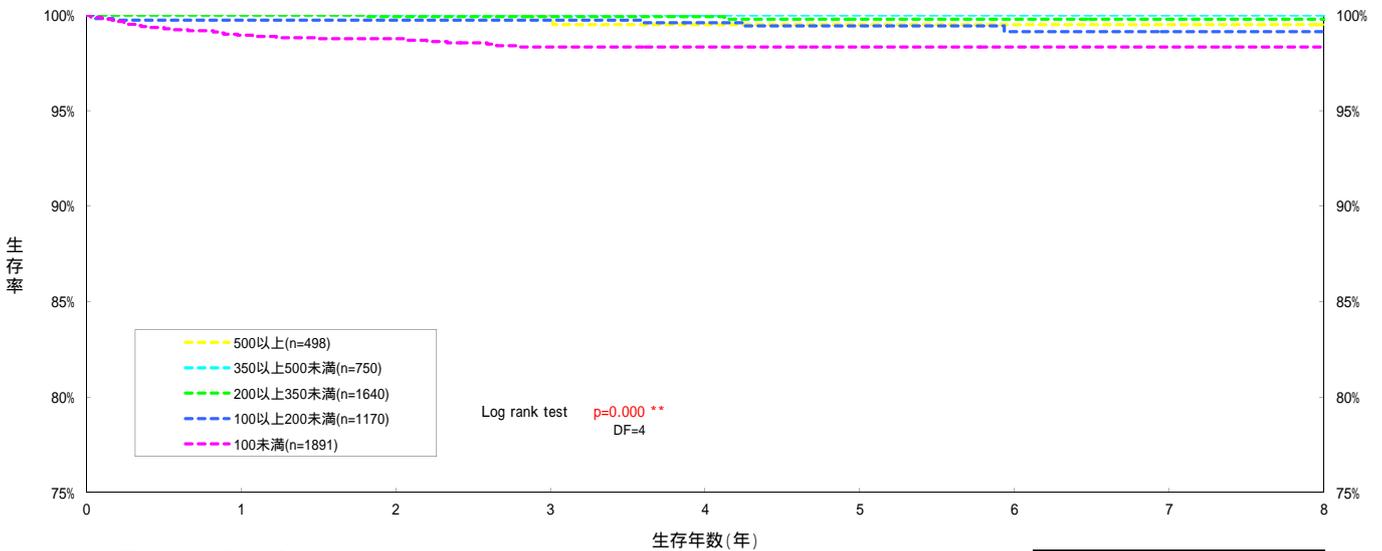


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景 (前治療歴の有無など) や
 治療内容 (2剤以下の抗HIV療法の構成比など) による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.431
350未満 vs 350以上	p=0.138
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数別の 生存者数	治療開始時 CD4数	生存年数																					
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
	<100	509	397	332	278	259	249	212	176	144	103	81	68	59	51	41	34	26	14	11	8	5	0
	<200	262	236	207	169	157	145	135	126	101	84	63	56	44	37	33	31	22	19	15	10	6	0
	<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147	114	77	65	54	44	39	35	27	24	20	10	6	0
	<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	9	7	4	4	2	0
	500	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	5	4	2	2	2	1	0

HRD共同調査生存率 (AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)



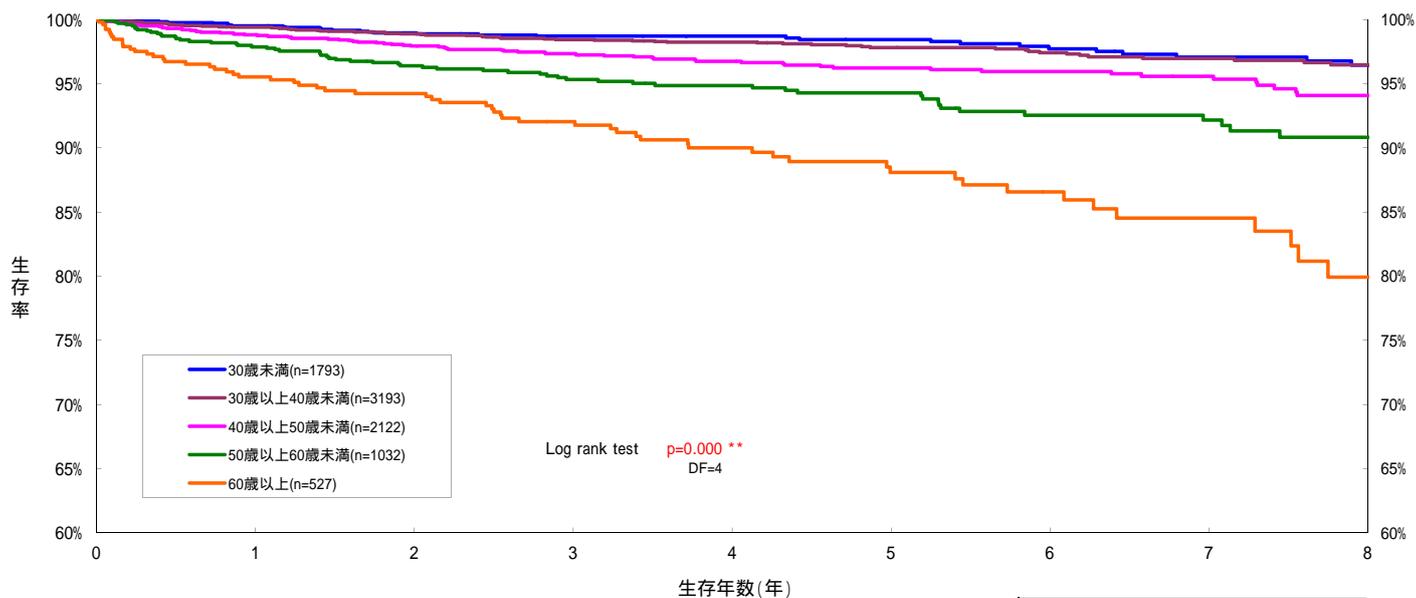
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景 (前治療歴の有無など) や
 治療内容 (2剤以下の抗HIV療法の構成比など) による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.274
350未満 vs 350以上	p=0.011 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数別の 生存者数	治療開始時 CD4数	生存年数																				
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)			
	<100	1891	1653	1451	1233	987	707	484	327	200	142	93	62	35	27	17	12	1	0	0	0	0
	<200	1170	1051	955	828	651	455	319	197	134	93	59	37	17	10	6	1	0	0	0	0	0
	<350	1640	1446	1269	1054	768	495	337	195	111	76	55	33	19	12	5	3	0	0	0	0	0
	<500	750	611	472	355	235	149	105	66	42	27	18	12	8	6	3	2	0	0	0	0	0
	500	498	399	304	205	115	71	53	28	16	10	9	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0

< 調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率 >

HRD共同調査生存率
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (調査期間: 1997年8月から2018年3月)

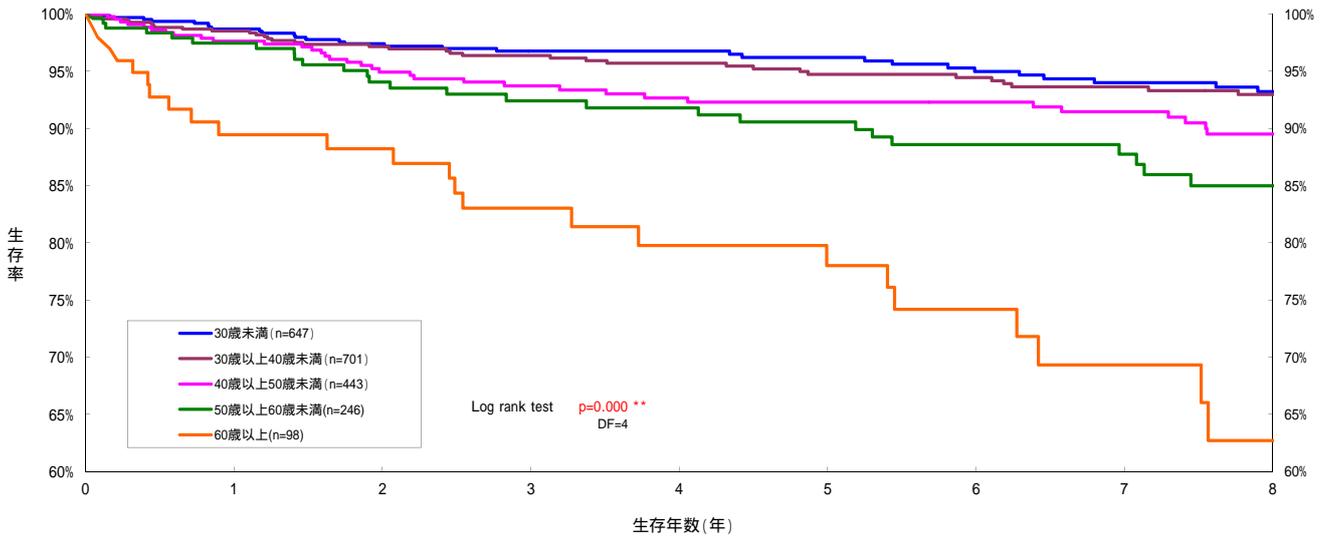


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢	治療開始時年齢	生存年数										
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
治療開始時年齢別の生存者数	<30	1793	1522	1302	1045	818	638	501	391	306	235	161
	<40	3193	2795	2430	2066	1654	1216	931	679	500	363	247
	<50	2112	1837	1574	1295	1004	772	606	437	310	235	155
	<60	1032	904	793	659	533	414	312	232	157	109	81
	60	527	459	410	335	270	203	139	92	56	45	31
	治療開始時年齢	生存年数										
		(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
	<30	126	91	76	66	52	36	31	28	21	17	0
	<40	194	145	113	87	79	57	40	30	20	7	0
	<50	116	75	57	42	33	19	13	9	6	4	0
	<60	59	45	39	27	15	9	6	3	2	1	0
	60	21	13	10	8	8	6	1	1	0	0	0

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)

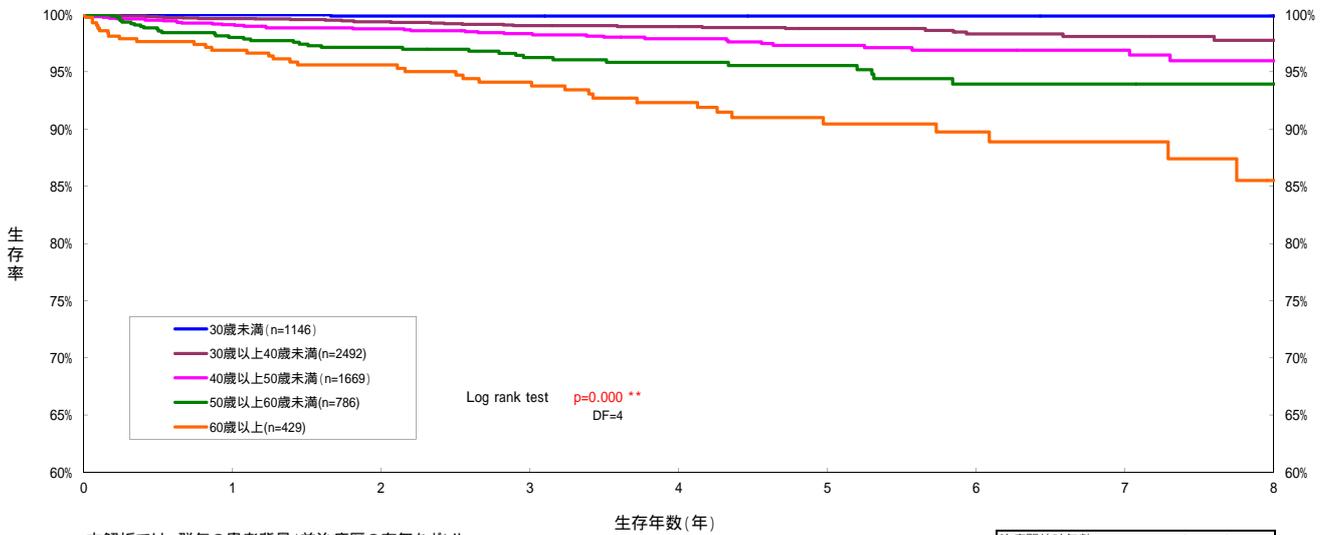


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない、下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.001 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢	生存年数																					
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)
<30	647	563	490	405	362	333	304	273	230	177	121	100	75	64	58	49	35	31	28	21	17	0
<40	701	603	524	447	409	383	349	305	248	192	143	123	107	89	76	69	57	40	30	20	7	0
<50	443	388	333	279	261	254	232	202	168	128	85	72	54	41	33	27	19	13	9	6	4	0
<60	246	209	183	155	150	141	125	102	77	59	43	36	32	28	21	14	9	6	3	2	1	0
60	98	79	70	55	47	44	32	25	19	16	11	10	6	6	6	6	6	1	1	0	0	0

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



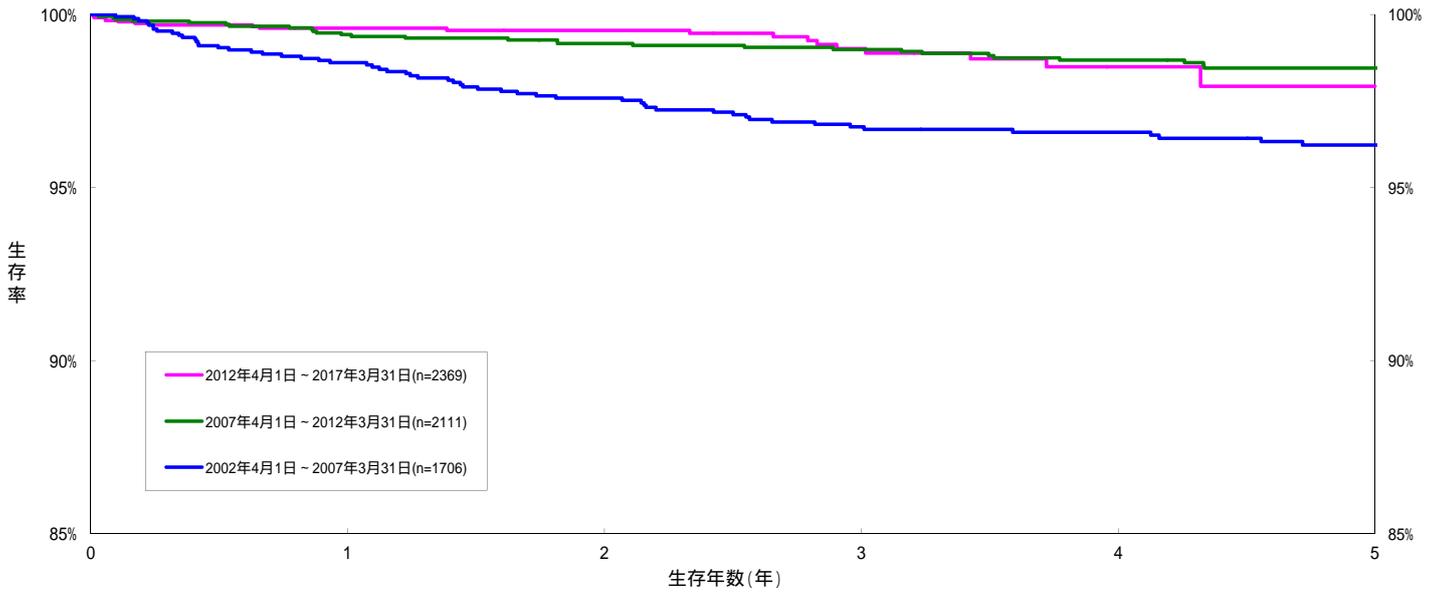
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない、下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢	生存年数																	
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
<30	1146	959	812	640	456	305	197	118	76	58	40	26	16	12	8	3	1	0
<40	2492	2192	1906	1619	1245	833	582	374	252	171	104	71	38	24	11	10	0	0
<50	1669	1449	1241	1016	743	518	374	235	142	107	70	44	21	16	9	6	0	0
<60	786	695	610	504	383	273	187	130	80	50	38	23	13	11	6	1	0	0
60	429	380	340	280	223	159	107	67	37	29	20	11	7	4	2	2	0	0

< 調査対象全症例における治療開始時期別生存率 >

HRD共同調査生存率
 治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2002年4月1日から2017年3月31日の期間を治療開始日で5年毎に区切った症例)

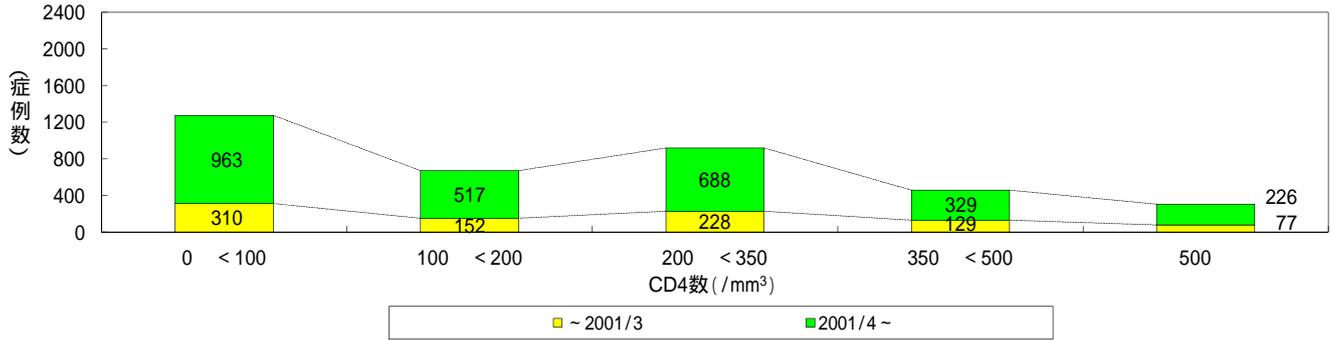


	治療開始時期	治療開始時 平均年齢	生存年数					
			0年	1年	2年	3年	4年	5年
治療開始時期 別の生存者数	2002年4月1日～2007年3月31日	39.69	1706	1573	1468	1323	1131	888
	2007年4月1日～2012年3月31日	39.87	2111	2000	1850	1701	1416	1004
	2012年4月1日～2017年3月31日	39.10	2369	1804	1311	764	248	0

< 調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数 >

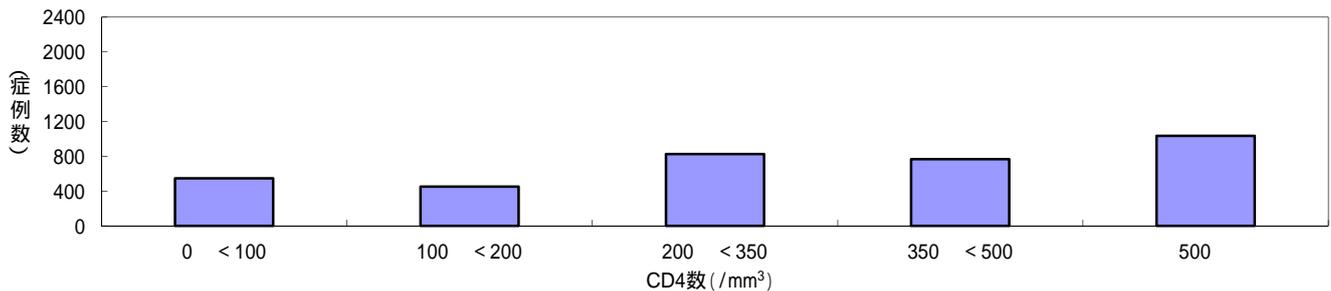
治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のCD4数

(調査期間: 1997年8月から2018年3月) (n=3619)



併用療法薬剤変更時のCD4数

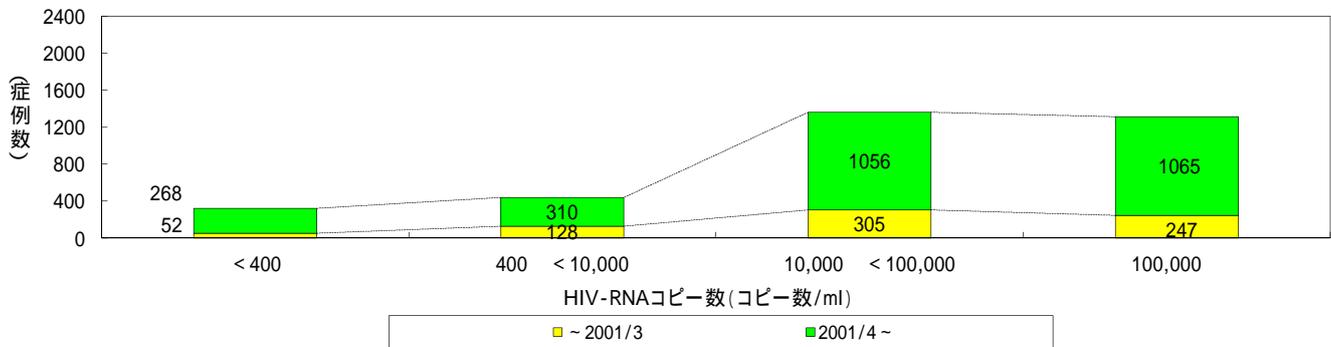
(調査期間: 1997年8月から2018年3月) (n=3619)



治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。
 治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。
 CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。
 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

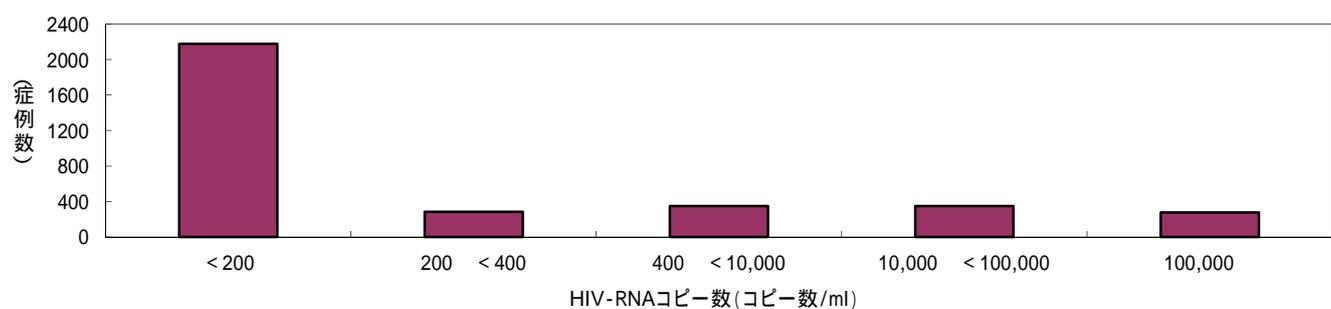
治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 1997年8月から2018年3月) (n=3431)



併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数

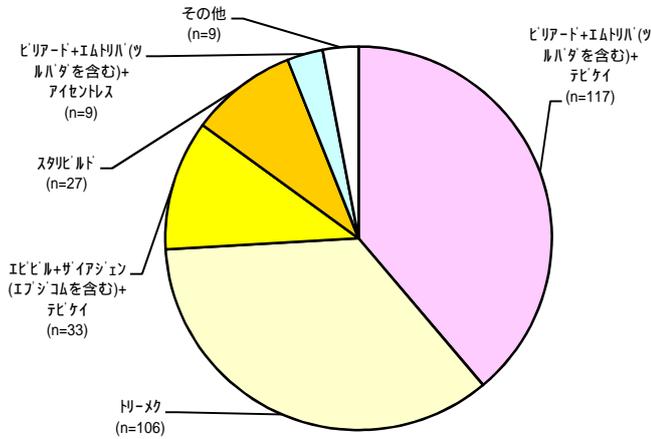
(調査期間: 1997年8月から2018年3月) (n=3431)



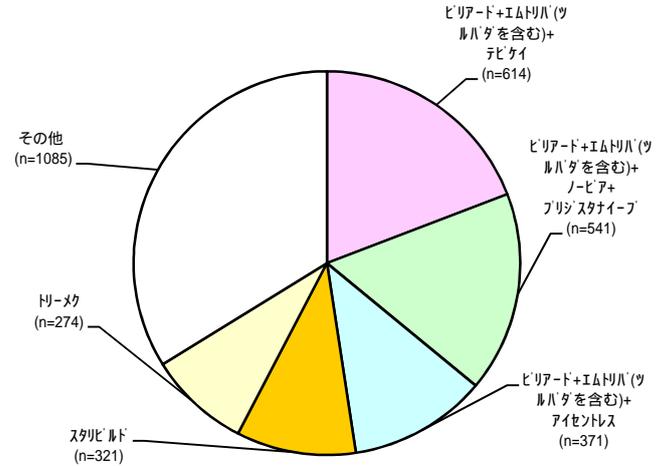
治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。
 治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。
 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

< 2015年度から2017年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ) >

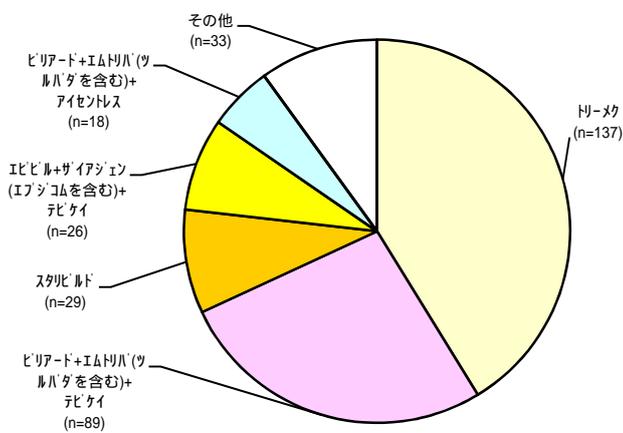
2015年度(2015年4月から2016年3月まで)に治療開始した患者
(治療経験が無い患者:
naive患者)
への併用療法薬剤組合せトップ5
(n=301)



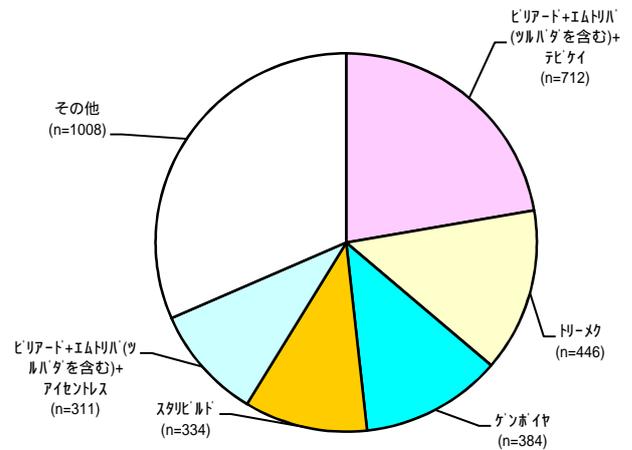
2015年度(2015年4月から2016年3月まで)併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法
薬剤組合せトップ5 *
(累積n=3206)



2016年度(2016年4月から2017年3月まで)に治療開始した患者
(治療経験が無い患者:
naive患者)
への併用療法薬剤組合せトップ5
(n=332)



2016年度(2016年4月から2017年3月まで)併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法
薬剤組合せトップ5 *
(累積n=3195)



必ずしも現在の治療ガイドライン等で推奨される併用療法薬剤組合せと一致しているわけではありません。治療開始にあたっては、最新のガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

* 併用された薬剤1剤でも変更されれば「変更」とカウントし、年度内に2度、3度変更されれば、重複カウントした。

本調査結果は、本邦におけるエイズ診療の中核となる医療機関での2015年度から2017年度までの調査対象症例における多剤併用療法の使用実態抜粋である。

2017年度(2017年4月から2018年3月までの)症例はデータロック時点で回収できた症例数が少ない為、今回掲載しておりません。

< Memo >

A series of horizontal dotted lines for writing.

< Memo >

A series of horizontal dotted lines for writing.

HRD 共同調査協議会のホームページ

<http://www.hrd.gr.jp/>